



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 セブンシーズホールディングス株式会社
 コード番号 3750 URL <http://www.sshd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤堂 裕隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 関 裕司
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5771-8531

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,200	31.2	78	—	51	—	89	99.7
25年3月期第3四半期	1,677	△25.6	△217	—	△210	—	44	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 89百万円 (656.5%) 25年3月期第3四半期 11百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	100.18	—
25年3月期第3四半期	61.34	—

※平成25年10月1日付で普通株式100株を1株とする株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	3,683	2,858	77.6	1,986.58
25年3月期	2,686	1,789	66.6	2,164.51

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,858百万円 25年3月期 1,789百万円

※平成25年10月1日付で普通株式100株を1株とする株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	51.1	250	—	150	—	221	45.1	267.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成25年10月1日付で普通株式100株を1株とする株式併合を実施しております。平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	1,588,704 株	25年3月期	974,988 株
----------	-------------	--------	-----------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	149,645 株	25年3月期	148,464 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	895,436 株	25年3月期3Q	732,424 株
----------	-----------	----------	-----------

※平成25年10月1日付で普通株式100株を1株とする株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）のわが国経済は、各種経済政策により、企業業績の改善や個人消費の回復が見られる状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、各事業において事業基盤の整備・拡充、ならびに各事業領域における競争力強化・収益性向上に鋭意取り組み、より付加価値の高いコンテンツ、サービス、ソリューションの創出とお客様へのご提供を積極的に図ってまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における連結売上高は2,200百万円（前年同四半期比31.2%増）となりました。

また、債権管理回収業における債権買収の事業資金とすべく、株主割当増資を行い、平成25年12月20日に613,716株を発行し、981百万円を調達しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、当第3四半期連結会計期間より、報告セグメント「サービス事業」を「フィナンシャルソリューション事業」に変更しており、比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

報告セグメントの変更についての詳細は、「セグメント情報等」に記載のとおりであります。

〔メディア&マーケティング事業〕

雑誌に係る広告収入が想定より増加となり、コンビニエンスストア向け商材の委託も堅調に推移いたしました。また、過去に委託した出版物の返品は想定内となりました結果、売上高は1,026百万円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

〔カードソリューション事業〕

タクシー会社向けカード決済端末サービスは、新規導入及びタクシー利用者数増加もあり、順調に推移した結果、売上高は556百万円（前年同四半期は561百万円）となりました。

〔フィナンシャルソリューション事業〕

債権管理回収業に関する特別措置法第3条に基づく法務大臣の許可を取得し、同法に定める債権回収会社として債権の買取り及び回収業務を行った結果、売上高617百万円（前年同四半期は46百万円）となりました。

また、セブンシーズ・アセット・マネジメント(株)における不動産及び金銭債権の売買、フィナンシャルに係る各種コンサルティング業に関しては、当第4四半期連結会計期間以降に売上計上する見込みとなります。

損益面につきましては、営業利益は78百万円（前年同四半期は営業損失217百万円）となり、株主割当増資による株式交付費の計上等により経常利益は51百万円（前年同四半期は経常損失210百万円）となりました。また、法人税等調整額を計上したことにより、四半期純利益は89百万円（前年同四半期は四半期純利益44百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,344百万円となり、前連結会計年度末に比べ952百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が438百万円、買収債権が641百万円増加したことによるものです。固定資産は322百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が81百万円増加したことによるものであります。繰延資産は16百万円となりました。

この結果、総資産は、3,683百万円となり、前連結会計年度末に比べ996百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は809百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少いたしました。これは主に預り金が114百万円減少したことによるものであります。固定負債は15百万円となりました。

この結果、負債合計は、824百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月5日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第3四半期連結累計期間においては、営業利益78百万円を計上しておりますが、平成20年3月期から平成25年3月期まで継続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に関する重要事象が存在しております。当該重要事象等を解消すべく、以下のとおり対応しております。

①メディア&マーケティング事業

メディア（出版）事業においては、これまでの自社媒体を出版する事業モデルから、出版コンサルティング事業、雑誌販売営業、広告代理店業務といった出版に関するインフラ提供へと収益の軸足をシフトしております。出版物の返品リスクを排除し、安定的な収益基盤を有する事業モデルへと転換した結果、当第3四半期累計期間において営業利益81百万円を計上しており、収益力が前年対比で大幅に改善しておりますので、引き続きコンビニエンスストア向け商材や営業代行事業を強化し、安定的な収益が見込める事業を展開してまいります。

②カードソリューション事業

当事業においては、平成23年3月期第1四半期連結累計期間より黒字化を実現しております。引き続き営業強化を行うことに加え、更なる収益向上に向け、決済メニューの多様化及び新規顧客の獲得を行ってまいります。

③フィナンシャルソリューション事業

債権管理回収業におきましては、法務大臣許可を平成24年5月10日に取得し、大規模なシステム及び人員体制が要求される小口債権は取扱わず、不動産担保付債権を主とした債権の買取り及び回収業務を行っております。取得債権は、一定期間で回収し、安定して収益を上げられるよう鋭意努力してまいります。また、当第4四半期会計期間以降において、債権管理回収にとどまらず、不動産及び金銭債権の売買、フィナンシャルに係る各種コンサルティング等を行ってまいります。

④経費削減

経費全般について全面的な見直しを行い、固定費の圧縮を実施しております。

各事業における上記の施策を講じることにより、収益性の改善を図っております。また、事業効率の向上及び固定費削減、法務関連費用、人的資源の再編等も含めたコスト削減も必要に応じて実施していく予定であり、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しておりますので、四半期連結財務諸表において、継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	277,922	716,725
売掛金	816,622	578,923
買取債権	731,692	1,372,952
たな卸資産	26,560	39,851
未収入金	463,118	546,644
その他	80,631	94,871
貸倒引当金	△4,704	△5,957
流動資産合計	2,391,843	3,344,010
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,419	11,690
工具、器具及び備品(純額)	185,214	149,853
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	187,633	161,543
無形固定資産		
のれん	49,962	39,256
その他	13,526	14,996
無形固定資産合計	63,488	54,252
投資その他の資産		
破産更生債権等	337,594	336,794
その他	29,880	117,961
貸倒引当金	△350,491	△347,678
投資その他の資産合計	16,983	107,077
固定資産合計	268,105	322,873
繰延資産	26,944	16,896
資産合計	2,686,894	3,683,779

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	286,123	319,393
未払費用	274,419	291,599
その他	323,693	198,823
流動負債合計	884,235	809,815
固定負債		
退職給付引当金	13,636	15,163
固定負債合計	13,636	15,163
負債合計	897,872	824,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,668,857	4,159,830
資本剰余金	1,265,950	1,756,922
利益剰余金	△277,325	△187,984
自己株式	△2,868,460	△2,869,968
株主資本合計	1,789,021	2,858,800
純資産合計	1,789,021	2,858,800
負債純資産合計	2,686,894	3,683,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,677,918	2,200,687
売上原価	1,250,596	1,592,987
売上総利益	427,322	607,699
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	212,542	177,435
その他	432,077	351,721
販売費及び一般管理費合計	644,619	529,156
営業利益又は営業損失(△)	△217,297	78,542
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	38,141	2,812
その他	53,311	4,919
営業外収益合計	91,453	7,732
営業外費用		
支払利息	25,225	7,453
株式交付費	12,416	14,978
創立費償却	4,495	4,495
開業費償却	4,936	5,553
その他	37,386	2,169
営業外費用合計	84,460	34,649
経常利益又は経常損失(△)	△210,304	51,625
特別利益		
投資有価証券売却益	39,402	—
関係会社株式売却益	197,245	—
受取設備負担金	35,355	—
その他	3,656	47
特別利益合計	275,659	47
特別損失		
固定資産処分損	143	392
和解金	10,852	—
その他	3,788	4,115
特別損失合計	14,784	4,507
税金等調整前四半期純利益	50,569	47,164
法人税、住民税及び事業税	5,640	31,284
法人税等調整額	—	△73,828
法人税等合計	5,640	△42,543
少数株主損益調整前四半期純利益	44,929	89,708
四半期純利益	44,929	89,708

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	44,929	89,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,547	—
為替換算調整勘定	△48,618	—
その他の包括利益合計	△33,070	—
四半期包括利益	11,858	89,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,858	89,708

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月20日を払込期日とする株主割当増資により、資本金及び資本準備金がそれぞれ490百万円増加しており、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,159百万円、資本準備金が1,756百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア& マーケティング事業	カードソリューション事業	データセンター事業	サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	819,337	561,237	250,593	46,750	1,677,918	—	1,677,918
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	819,337	561,237	250,593	46,750	1,677,918	—	1,677,918
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△151,516	78,140	20,189	△58,344	△111,530	△105,766	△217,297

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△105,766千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア& マーケティング事業	カードソリューション事業	フィナンシャルソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,026,739	556,653	617,294	2,200,687	—	2,200,687
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,026,739	556,653	617,294	2,200,687	—	2,200,687
セグメント利益又は セグメント損失(△)	81,478	104,256	△15,482	170,252	△91,709	78,542

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△91,709千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

※参考 旧セグメントでの売上高及び利益又は損失の金額

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア& マーケティング事業	カードソリューション事業	サービサー 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,026,739	556,653	617,294	2,200,687	—	2,200,687
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,026,739	556,653	617,294	2,200,687	—	2,200,687
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	81,478	104,256	△13,281	172,453	△93,910	78,542

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、データセンター事業を営むDR Fortress, LLCを売却したことにより、同事業から撤退しております。

当第3四半期連結会計期間において、直近の事業内容に鑑み、報告セグメントの名称変更及び区分変更を実施しております。

この変更は、その他事業のうち、セブンシーズ・アセット・マネジメント(株)においては、不動産及び金銭債権の売買、フィナンシャルに係る各種コンサルティング等といった事業が活発化する中で、同社と事業連携性が高い債権管理回収業を営む従来のサービサー事業とセグメントを統合したほうが合理性があることから変更するものであります。

この結果、従来の「サービサー事業」は、「フィナンシャルソリューション事業」へと変更しております。